

社会科	「自分史年表を作ろう」	
6 学年	実施の時期 実践者	平成15年12月 鳴瀬町立小野小学校 高橋 史子

○ 実践の概要

【新聞の活用方法について】

☆ 社会科において、これまでの歴史学習のまとめとして、自分の生まれてからこれまでのことを振り返り、自分史年表を作る学習を行った。その際、自分の生まれた日の新聞のコピーを取り寄せ、その日の出来事を知り、自分史に書き加えるようにした。

☆ 具体的には、自分史を作る授業の中で、自分の生まれてからこれまでのできごとを振り返ったあとに、続いて、社会の動きを振り返る段階で、新聞を配布した。新聞は、一面のほかに、地方版とテレビ欄も一緒に渡した。子供たちには、その中から、自分の興味のあるものを一つ自分史に書き加えるよう話した。また、その新聞は、自分の生まれた日という特別な新聞なので、大切に保管するよう話した。

【実践を振り返って】

※ 子供たちは、自分の生まれた日のできごとにとっても興味を示し、新聞の隅々まで目を通していった。さらに、子ども達同士で、お互いの誕生日の新聞をうれしそうに見せ合ったりしていた。

※ 自分の生まれてからのことは、ある程度自分でも振り返ることができるが、社会のできごとに目を向けさせることは難しいが、誕生日の新聞を読むことにより、その頃の社会の動きにも目を向けることができ、関心を持たせることができた。歴史というものを自分とのかかわりで考える良い手立てとなったように思う。